

取材雑記

◆明治時代の「だろっ」と研究者は推察に来日した英女性旅行家イザベラ・バード。置賜の地を「東洋のアムステルダム」と称賛した記述はあまりに有名だ。彼女が旅した季節はもう少し後だが、今の置賜盆地も山々のみずみずしい緑が一面に芽吹いた最高の季節で、まさに理想郷の趣だ。

◆先日南陽市で開かれたバードの山形路を語るシンポジウムが実に面白かった。バードは雨で足元の悪い峠を必死の思いで越えた後、やっと好天に恵まれ「解放感も手伝って眼前に広がった景観をあれほど褒めた

◆「だろっ」と研究者は推察する。一方でバードは、三味線がうるさい赤湯の宿を避け上山へ。南陽市民には複雑な思いもある。

◆バードは、温めると背中が痛む病のため、長旅なのにゆつくり温泉につかることほどんどなかったと分析する。「これで東北の温泉地はかなり損をした

◆「だろっ」と研究者は推察する。一方でバードは、三味線がうるさい赤湯の宿を避け上山へ。南陽市民には複雑な思いもある。

◆バードは、温めると背中が痛む病のため、長旅なのにゆつくり温泉につかることほどんどなかったと分析する。「これで東北の温泉地はかなり損をした

◆「だろっ」と研究者は推察する。一方でバードは、三味線がうるさい赤湯の宿を避け上山へ。南陽市民には複雑な思いもある。

◆バードは、温めると背中が痛む病のため、長旅なのにゆつくり温泉につかることほどんどなかったと分析する。「これで東北の温泉地はかなり損をした

(K)



元気まちネット